

生きづらさを抱えるあなたへ



「世界は『』で満ちている」
櫻 いいよ/著
PHP研究所

中学1年生の由加は、優しい家族と仲の良い友人に囲まれ、毎日を楽しく過ごしていたが、ある日を境に突然学校で孤立してしまう。



「線は、僕を描く」
砥上 裕将/著
講談社

水墨画という「線」の芸術が、深い悲しみの中に生きる「僕」を救う。



「青くて、溺れる」
丸井 とまと/著
KADOKAWA

些細なきっかけで、いじめの対象になってしまった高校2年生の祥子は、ある日「名前のない」喫茶店を見つける。



「14歳、明日の時間割」
鈴木 るりか/著
小学館

学校の時間割に見立てた7つの物語。学校、友情、絆…、笑ってそしてホロッと泣ける青春小説。



「いつかの岸辺に跳ねていく」
加納 朋子/著
幻冬舎

生きることに不器用な徹子と幼なじみの護。ふたりの物語が重なったとき、温かな真実が明らかになる…。



「思わず考えちゃう」
ヨシタケ シンスケ/著
新潮社

ついつい考えすぎちゃう絵本作家の読むとクスツとしてホッとさせるエッセイ。



「101人が選ぶ
『とっておきの言葉』」
河出書房新社/編
河出書房新社

俳優、スポーツ選手、小説家、芸人など、
さまざまな分野で活躍している101人が
選ぶ「とっておきの言葉」を紹介。



「自分のことと
うまく付き合う方法」
アリス・ジェームズ/著
ルーイ・ストウェル/著
東京書籍

親や先生は気づかない、友だちや学校、
SNSでの人間関係のモヤモヤ…。
こころの健康を保つためにどうすれば
いいか、わかりやすく解説。



「10代のための疲れた
心がラクになる本」
長沼 睦雄/著
誠文堂新光社

生きづらさを抱えている10代に向けて、
ストレスの正体やどうすれば気持ちを変え、
行動を変えられるか具体的な方法を紹介。



「ぼくはイエローで
ホワイトで、ちょっとブルー」
ブレイディみかこ/著
新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、
人種も貧富もごちゃませの「元・底辺中学校」。



「未来の自分に
出会える古書店」
齋藤 孝/著
文藝春秋

進路、受験、友情…。思春期に誰もが
突き当たるような問題に、
本は道しるべを与えてくれる。



「10代から考える生き方選び」
竹信 三恵子/著
岩波書店

10代は具体的な職業だけでなく
理想の生き方を思い描く時。
10代にとっての最適な人生の選択とは？



滝川市立図書館

滝川市大町1-2-15

Tel: 0125-22-4646